

平成25年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

＜お知らせ＞マンゴーにおける炭疽病の防除対策についてのコラムがあります(15ページ参照)。

かぼちゃ細菌性病害の防除対策についてのコラムがあります(16ページ参照)。

防鳥ネット設置によるレタスのシロガシラ被害対策についてのコラムがあります(17ページ参照)。

イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/h25-ineyo.html>

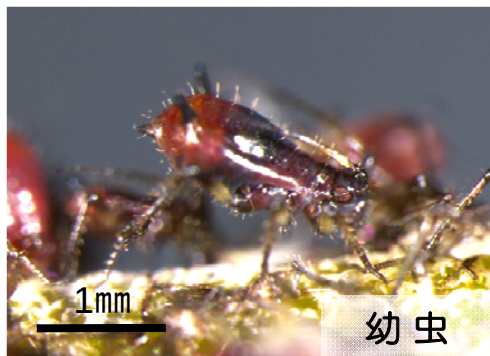
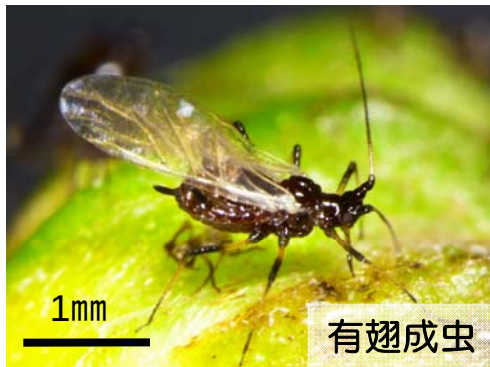
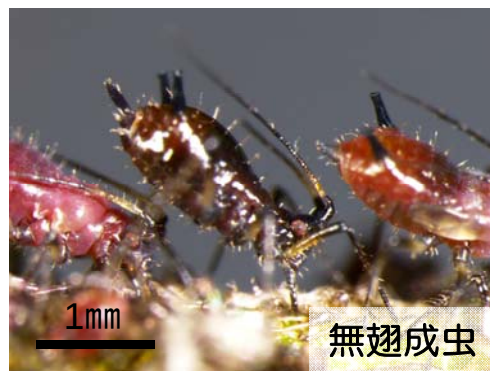
今月のトピックス

キクヒメヒゲナガアブラムシ (キク)

学名 : *Macrosiphoniella sanborni*



生態と被害



本種は、世界に広く分布するアブラムシで、キクの害虫として知られる。葉の裏にも寄生するが、茎頂部で頭を下にして列状に並んでコロニーを形成する。

無翅成虫は紡錐型で、触角が体部より長い。体色が光沢のある暗赤褐色～赤みの黒褐色であること、および角状管と尾片がともに黒色でほぼ同長であることから、キクに寄生する他種と区別できる。有翅成虫の翅は無紋で、翅脈周縁は透明。

キクにおける発育日数は20℃で約10日、最適温度では約1週間である。成虫の寿命は約10日間で、産仔数は100頭程度である。

沖縄では、周年発生するが春秋に多い。成・幼虫は、新芽の伸長部に群生し、茎葉および若い蕾を加害して生育を阻害し、美観を損なう。防除にあたっては、防虫ネットの設置や飛来源となる圃場周辺のカキ科雑草(ヨモギ、ヨメナなど)の除去などに努める。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>